～欣浄寺法語メール～２０１６年８月～

明日は終戦の日、平和を願って鐘を撞くお盆恒例の「安穏の鐘」も今年で７年目を迎えます。釣鐘を前に子どもたちからたびたびと尋ねられたのがその重さ、降ろして量ることもできず答えるのに窮していました。そんなおりたまたま見つけたのが、釣鐘の高さでおよその重さがわかると紹介してあったある鋳物会社のホームページ、早速高さを測ると１４０cmでした。さて、高さ１４０cmある欣浄寺の釣鐘の重さは何キロあると思いますか？？？

・・・その重さ約１トンでした。ちなみに国内で一番大きく重い梵鐘は京都方広寺（今年の大河ドラマ「真田丸」で必ずや紹介されるであろう豊臣秀吉・秀頼親子が寄進し大阪冬

と夏の陣のきっかけとなった史上有名な梵鐘）のもので高さ４．２ｍ直径が２．８ｍ、重さ８２．７トンです。

　大きさや重さはまちまちですが、その梵鐘は仏像を表しています。上部は奈良の大仏さんのように螺髪（らほつ・縮れ丸まっている髪）をかたどり、下部は衣がデザインされています。ところで、釣鐘の数え方をご存じでしょうか。私が今向かっているパソコンは１台２台、金メダルは１個２個、では釣鐘は？・・・「１口（コウ）、２口、３口・・・」と数えます。鐘を撞いて鳴らすのは私たちですが、そのゴーンと鳴る音は仏さまの「口」からでた声だからです。明日の安穏の鐘で、仏さまはどんなお声を届けてくださるでしょうか。朝８時のお勤めの後、鐘を撞きます。

どうぞ、お参りください。